

全国から選ばれる「交通未来都市うつのみや」を目指して

Super Smart City **NCC**

バス路線の再編・地域内交通の充実

バス路線を再配置し、ライトラインと接続する路線を新設するとともに、地域内交通についても、ライトラインと接続させるなど、公共交通ネットワークの充実を図りました。

令和5年8月26日ライトライン開業!

全線新設のLRTとしては、国内初となる「ライトライン」が開業しました。通勤・通学や買い物、観光での利用など、多くの方に利用いただいております。移動手段の一つとして、浸透しています。

バスの上限運賃制度
バスで、どこまで乗っても **400円以内**

乗継割引制度
組み合わせ、どこから乗っても **500円以内**

公共交通はひとつでも、組み合わせてもお得!

「どこから乗っても乗り継いでも街なかまで500円以内」に

日中の時間帯におけるバス1乗車あたりの運賃の上限を400円とする「上限運賃制度(交通系ICカード利用時)」や、ライトラインとバス、地域内交通を乗り継いだ際の運賃を割り引く「乗継割引制度(totra利用時)」を実施しています。

JR宇都宮駅西側のライトラインは2030年代前半の開業を目指しています!

優先整備区間 約15km
普通電車(各停留場に停車)で約44分

シェアリングモビリティで公共交通がもっと便利に

鉄道やライトラインを降りてからの移動や街なかでの移動を便利にする交通手段として、ライトライン沿線や中心市街地に電動アシスト自転車などのシェアリングモビリティを導入しました。

公共交通の更なる利用促進に向けて

交通系ICカード「totra」を、中学生・高校生相当世代に配付しており、令和6年からは、小学生にも配付します。また、通学時における「ライトライン・バス連絡定期券購入」に対する支援も実施します。

ライトライン沿線のまちづくり

多くの方が行き交う交通結節点周辺などの特性に応じた沿線まちづくりを進めています。
◆**東部総合公園の整備**
国内初となる、停留場直結で全国大会にも対応できるスケートパークを核として、多世代が集い、楽しめる公園を整備します。(令和8年3月開園予定)

夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」

住めば愉快だ宇都宮 UTSUNOMIYA

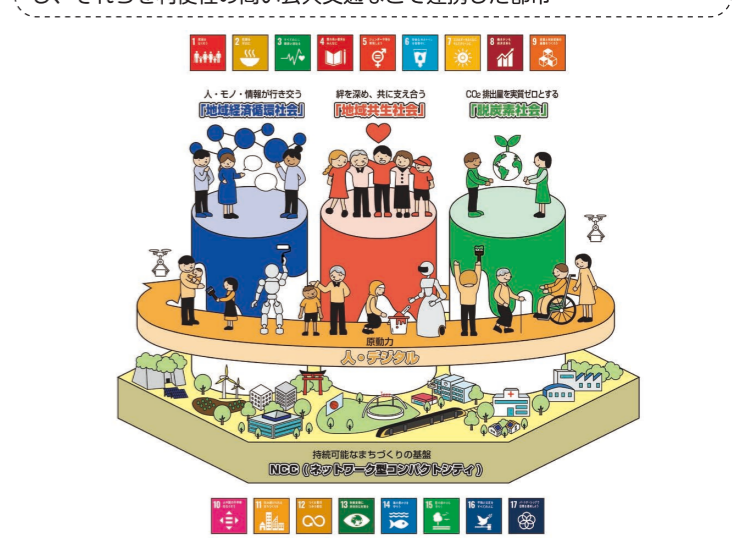
「スーパースマートシティ」とは… 詳しくはこちら! →

100年先も発展し続けるまちの姿である「NCC」(※1)を土台に、

地域経済循環社会 **地域共生社会** **脱炭素社会**

の3つの社会が、「人」づくりの取り組みや「デジタル」技術の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」です。

※1 ネットワーク型コンパクトシティ
中心市街地やそれぞれの地域拠点、産業、観光拠点にまちの機能を集約し、それらを利用性の高い公共交通などで連携した都市



うつのみやの実力

住んでよし、働いてよし、宇都宮市は100年先も持続可能な都市として高く評価されています。

共働き子育てしやすい街

「共働き支援」「子育て支援」「自治体のダイバーシティ」の3分野を採点し、計44評価項目によりランキングを集計。

人口20万人以上の157市区中

第2位

住みよさ度

「安心度」・「利便度」・「快適度」・「富裕度」の4項目20指標(子ども医療費助成、財政力指数など)を採用。

人口50万人以上の27市中

第3位

財政健全度

「収支」・「弾力性」・「財政力」・「財政基盤」・「将来負担」の5項目20指標を採用。

人口50万人以上の27市中

第2位

全国トップクラス 子育てにやさしいまち うつのみや

安心して出産・子育てができる環境

宇都宮市は、子育て家庭が愛情を持って子どもを生み育て、子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、全力で応援します。

妊娠から出産まできめ細かな支援の実施

安心してお子さんを産み育てていただけるよう、妊産婦さんへの医療費の助成(保険診療自己負担分)や妊産婦健康診査の16回分(妊婦14回・多胎妊婦は上限なし、産婦2回)の助成による経済的支援をするとともに、産後におけるケア事業を行っています。

年間を通した待機児童ゼロの達成

保育を必要とする全ての子育て世代が、保育園などに入所できるよう、宇都宮駅周辺で送迎保育ステーション事業の実施や育児休業明け入所予約制度など、保育サービスの充実に取り組んでいます。(令和4年度には初めて年間を通した待機児童ゼロを達成)

第2子の保育料(0歳~2歳)の無償化

子育て世代に対する経済的負担を軽減するため、これまで第3子以降が対象だった保育料の無償化を令和6年4月から、第2子以降に拡大します。

子ども医療費の無償化

高校3年生相当(18歳)までのお子さんが、栃木県内の医療機関等を受診した場合に、健康保険が適用となる医療費(自己負担分)の窓口での支払いが不要です。

学びをつなぐ うつのみや

小中一貫教育カリキュラム

各教科等をはじめ、「宮っ子心の教育」「宮・未来キャリア教育」「元気アップ教育」において、義務教育9年間を通した系統的な指導を行っています。また、小学校1年生から独自に英語の授業を行い、ALTと一緒に楽しく学ぶことを通して、英語によるコミュニケーション能力を育てています。

宇都宮学

宇都宮の「過去」「現在」「これから」の3つの視点をつないで学ぶ「宇都宮学」の授業を実施し、児童生徒の郷土への愛情や誇りを育てています。

百人一首のまち うつのみや

宇都宮市は、百人一首誕生に関わった5代宇都宮城主・宇都宮頼綱(蓮生)にちなみ、「百人一首ゆかりの地」とされており、毎年百人一首市民大会を実施しています。令和元年度には、「同時にかかるた遊びをした最多数」のギネス世界記録701人を達成しました。

小中学生の読書量 中核市トップクラス!

全小中学校の図書室に、司書が常駐し、本の貸出しや読書相談などを実施しているほか、市立図書館の司書が推薦する図書の貸出しや週替わりで各学校と図書館を巡回する図書サービスを実施するなど、いつでも本に親しむことができる環境を整えることで、子どもたちの読書活動の充実につなげています。

「U@りんくす」(オンライン)

「U@りんくす」では、メタバース空間を活用し、不登校の子どもたちの「学びの機会」を保障し、オンラインでの学習支援や相談、体験活動を通して、人とのつながりを実現しながら、将来の「社会的自立」に向けた力を育てています。

共に支えあう うつのみや

宇都宮市は、すべての市民が社会とつながりが持てるよう、住み慣れた地域で支え合い、市民一人ひとりがいきいきと輝く社会を目指しています。

保健と福祉のまるごと相談窓口「EメールU」を市内30か所に設置

悩みを抱え込まず、気軽に相談ください!

EメールUについてはこちら! →

どこに相談したらよいかかわらない、同時に複数の困りごとがあるなど、介護や障がい、生活困窮等の、世代や分野を超えた市民の皆さんの困りごとを受け止め、さまざまな保健福祉サービスへの橋渡しを行います。

誰もが気軽に集まれる交流の場「認知症サロン」

認知症の方やそのご家族をはじめとした、誰もが気軽に集まれる「認知症サロン」を設置しています。

ランチの提供やお菓子づくりなど、それぞれのサロンが特色ある運営をしていますので、ぜひお気軽にお越しください。

認知症サロンのホームページはこちら! →

皆さまの安全で安心な暮らしを支える「自治会」

宇都宮市自治会連合会では、レストランやショッピングモールなどの提携施設で割引や特典を受けることができる、自治会会員の優待制度「宮PASS」の実施などにより、自治会加入促進に取り組んでいます。

本市では、こうした自治会の取組を支援しています。

自治会連合会のホームページはこちら! →

